

【別添2】

令和3年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜城北高等学校

学校番号

8

I 自己評価

1 学校教育目標	(1) 一人一人の個性を伸ばすとともに豊かな人間性を培う。 (2) 学力の向上とともに幅広い教養を身に付ける。 (3) 社会に貢献できる心身ともに健やかな生徒の育成を図る。	
2 評価する領域・分野	◇2年学年会	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月に行った学校評価アンケートによると、生徒については昨年度と同じような評価であるが、保護者については昨年度よりどの項目も評価が下がっているため、学校全体として保護者の声に耳を傾ける必要がある。</li> <li>12月に行った修学旅行アンケートによると、参加した生徒の95%が満足したと答えており、コロナ禍のなか、日程、行先変更を行いながらも実施することができてよかった。</li> </ul>	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇自己管理能力を身に付け、望ましい生活習慣と目標を確立する。</li> <li>◇修学旅行を通して自己の視野を広げ、仲間を尊重する態度を養う。</li> </ul>	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年会</li> <li>・生徒指導を始めとする各分掌との連携</li> <li>・総合学科長、生活文化科長との連携</li> </ul>	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 出席状況の把握と保護者との連携 (2) 事前、事後を含めた修学旅行の取り組み	(1) 欠席・遅刻状況 (2) 生徒の意識、行動	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安易な欠席や遅刻について、その都度指導を行うよう努めた。</li> <li>・欠席や遅刻を繰り返す生徒の状況確認を懇談・家庭訪問等で丁寧に行った。</li> <li>・修学旅行に向けての学年集会で、仲間を尊重する態度について繰り返し話した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自己管理能力を身に付けさせるために継続的な指導ができたか。</li> <li>②生徒の情報を共有し、家庭との連携を密にできたか。</li> <li>③修学旅行を通して、仲間を尊重する態度が養えたか。</li> </ul>	<p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p>
11 成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒指導部や教育相談係から生徒情報を収集し、学年別会議や職員会議において情報を共有するとともに、保護者との連携を密にし、生徒理解に努めることができた。</li> <li>○修学旅行アンケートによると、ほぼすべての生徒が修学旅行中、決められた心得や時間が守れたと答えており、成果を得ることができた。</li> <li>▲安易な欠席や遅刻を繰り返す生徒について、特別懇談を何度も行ったが、改善させることができなかった。</li> </ul>	
12 来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度同様、家庭や生徒指導部との連携を密にし、情報を共有して生徒理解に努めていく。</li> <li>・生徒一人一人が進路目標を設定し、実現していくための取り組みを工夫して行う。</li> <li>・進路実現に向けての活動を通して、自己の視野を広げ、仲間を尊重する態度を養わせる。</li> </ul>	

II 学校関係者評価

実施年月日：令和4年2月14日

【意見・要望・評価等】

・特になし